

平岡いきものはっけん隊からお届けする地域の自然情報誌

2017

夏の
記録号

季刊 湘南自然誌 Vol.6

〈巻頭特集〉

「家族で野山に出かけてみよう！」

てづか まり

手塚 真理 先生

秦野市「くずはの家」指導員
元市立市川自然博物館学芸員
平岡幼稚園卒園児母



堀田佳之介 副園長

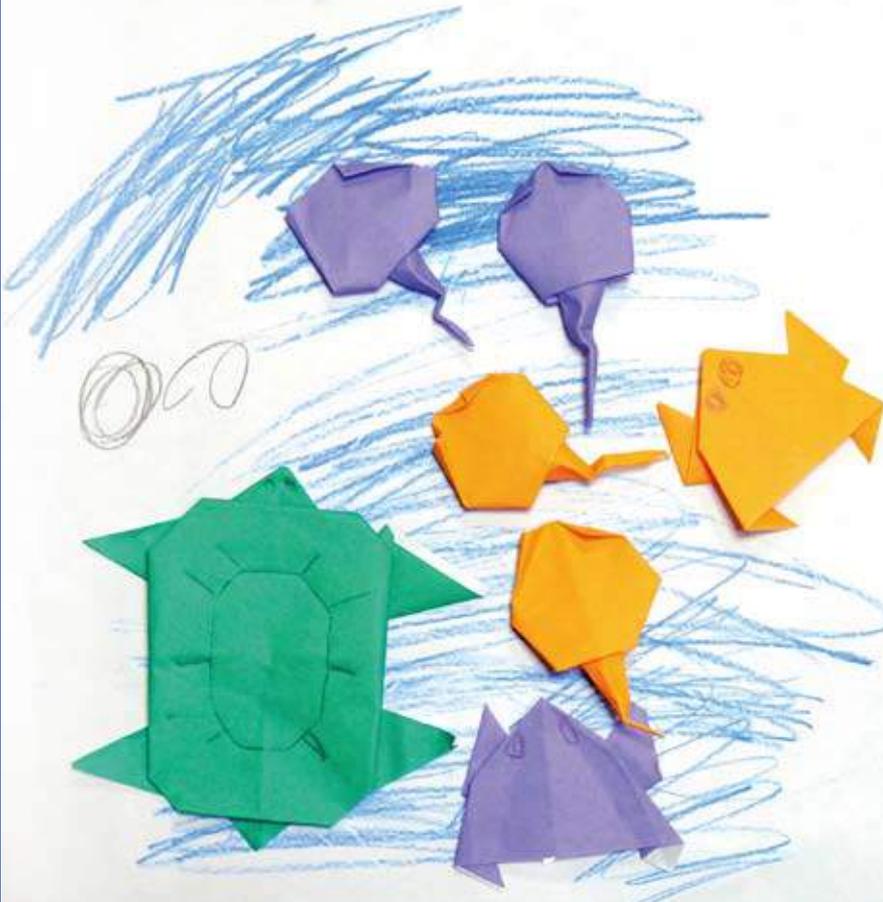


ヤマトタムシ

7月 茅ヶ崎市平太夫新田にて

「かわのなかとくじらのうちゅうせん」

画：のむら さく (4 さい)



P1 はっけん隊について
とっておきの1枚！
写真投稿コーナー

巻頭特集
P2-6 「家族で野山に
出かけてみよう！」

P7-P11 2017.6月-8月
生き物はっけん記録

P12 第5回『あいだ先生のチョウ教室』
～チョウの季節型のおはなし～

P13-16 はっけん隊活動報告

P17 特集2 自然観察のマナー

P18 平岡四季のたより
はっけん隊のからのお知らせ

P19 絵画投稿コーナー
おえかきひろば

「平岡いきものはっけん隊」と「湘南自然誌」

「平岡いきものはっけん隊」って？

「平岡いきものはっけん隊」(略称:はっけん隊)は、平岡幼稚園の在園児と卒園児及びその家族と、教職員、有識者による顧問等で構成されています。平成28年3月に佳之介副園長の呼びかけで発足しました。あつまりやイベントへの参加義務はなく、隊員それぞれができる範囲で自然と関わる機会を作っています。



『こんなところにいきたい』画:こぼやし ゆうき(7さい)

「湘南自然誌」はどんな本？

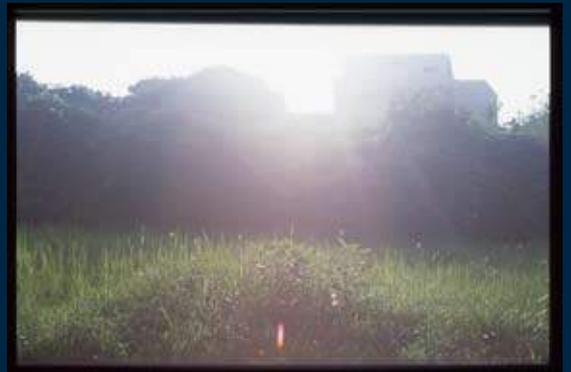
「湘南自然誌」は、隊の活動報告やみんなが見つけた生き物を記録に残していく隊報です。みんなで積み上げた記録は今後の研究や保全活動に活かされています。また、本誌は生き物の不思議・面白さをより深く知ってもらうための教育誌でもあります。

【はっけん隊の先生紹介】 名誉顧問:岸一弘(日本生態学会会員) 世話人:會田重道(日本鱗翅学会会員) 呼び掛け人:堀田佳之介(平岡幼稚園副園長・日本セミの会会員)

自然の美しさ・自然とふれあう子どもたち
きらめく一瞬を切り取った写真館

とっておきの一枚！ 写真投稿コーナー

写真好きなお父さんお母さん、とっておきの1枚をここに載せてみませんか？ 機材は、なんでもOKです。
撮影者・題名・機材名(わかれば)を添えて下記アドレスまで。
ikimono@hiraoka-kg.com



『夏光』 野村塁 ニコン FM3A ニッコール S Auto50mm f1.4 フジクロームプロビア 100F



『蝶のかたらい』 小林鉄斎 ニコン D7000 1/8000 F3.5 ISO200
小林さんは平岡幼稚園のイベント撮影をして下さっているスロカメラマンです。



『秋桜』 野村塁 ニコン FM3A AiAF ニッコール 50mm f1.4 フジクロームプロビア 100F



『にいにい蟬の抜殻発見』 橋本愛子
スマートフォン



『ニイニゼミの木登り競争！？』 小山瑞穂
スマートフォン



『大磯照ヶ崎海岸のアオバト』 成田栄次

家族で野山に出かけてみよう！



9月6日、秦野市くずはの家にて

平岡幼稚園

堀田佳之介 副園長

秦野市くずはの家指導員
元市立市川自然博物館学芸員
平岡幼稚園卒園児母

てづか まり

✕ 手塚真理 先生

堀田佳之介 (以下 堀田) > 今回の特集は、くずはの家で自然観察の指導員として活躍されている手塚さんとの対談ということで、くずはの家にお邪魔させていただきました。今日は自然とのふれあいの入門編になるような、生き物がちょっと苦手な方でも野山に出かけたくなるお話を伺えたらと思います。

手塚真理 (以下 手塚) > よろしくお願ひします。

堀田 > 手塚さんと知り合ったのは2年前にくずはの家で平岡幼稚園の自然体験イベントを開かせていただいた時ですね。あの時、いろいろ生き物に詳しい人だなあとお話ししていたら、実は平岡の卒園児のお母さんだったことが分かって驚きました (笑)

手塚 > そうでしたね。うちは二児共に平岡っ子です。

堀田 > ありがとうございます。お子さんが園児だった頃は一緒に野山に出かけていたんですか？

手塚 > 元々千葉の博物館で学芸員をしてたんですけど、こっち (秦野市) に越して来てまず驚いたのが川の美しさだったんですね。それで川で遊ぶのがすごく楽しくてよく一緒に出かけてました。

堀田 > 他の家庭よりかは親子で自然にふれあう機会が多かったんですかね？

手塚 > そうですね。でも子どもに何かしてあげようとかそういうことでもないんですよ。私が感動したんでそのまま子どもを連れて遊んでた感じです。

堀田 > ちなみに、お子さんがどのくらいになるまで自然遊びをしてたんですか？

手塚 > 小学校の低学年くらいまでですかね。

堀田 > やっぱりそのくらいで一度離れていってしまいうんですかね？

〈 手塚真理先生 Profile 〉

1964年東京生まれ。小さい頃から動物が好きで、千葉大学の生物学科に進学。在学中に水辺環境に興味が生まれ、水生植物の研究を行う。卒業後は千葉県の市立市川自然博物館で学芸員となる。結婚後退職し秦野市に転居。二児はともに平岡幼稚園に通い、専業主婦となり親子でどっぷり幼稚園生活にはまる。秦野のすばらしい自然に触れ、自然に関わる仕事への復帰を決意。秦野市くずはの家設立に関わる研究会に参加し、その後職員となり、緑地の管理や自然観察会などに携わっている。他に湘南里川づくりみんなの会で水辺の自然のPRも行う。

手塚 > だいたいそうですね。なので、どういうことが楽しかった？って子どもたちに聞いてもあんまり憶えてないんですよ (笑)

堀田 > 今虫が怖いとか触れないとかそういう子どもが増えてきていると思うんで、それを考えると、そうやって幼い頃普通に自然にふれあえたのは貴重な経験だったのではないのでしょうか？

手塚 > そうですね。子どもの感性が柔らかいうちに、こういう自然豊かなところに来て良かったと思います。

堀田 > 手塚さんのような家庭の子はいいんですけど、「虫は汚い、怖い」って思ってるお父さんお母さんが進んで野山に子どもを連れ出ししていくことはないと思うんですよね。自然はいろんなことが学べる場ですから、ちっちゃい子にはまず自然の中でいっぱい遊んでもらってね、自然の不思議とか楽しさを感じてもらえたらなあと思うんですけど、なかなかね、おうちの人が虫嫌いだったりすると…

生活圏をより豊かに感じ取れるように

手塚 > 確かに親が虫嫌いだったら私たちがやってるようなイベントにそもそも子どもを連れてきてくれないですね。

くずはの家にボランティアで来ていただいている方々なんかは高齢の方が多く、自然が友達みたいに育った世代なんですけど、その方々に話を聞くと、「孫に自然体験させようとするとお母さんが怒るのよ」なんて言うんですよ。今の親の世代は自然体験をしてきていないから、子どもをそういうところに行かせたがらなかったりするんですね。なのでくずはの家では、なるべく親も楽しめるような企画を考えて、親子一緒に自然体験してもらうようにしています。

堀田 > まずは親に楽しんでもらうことが大事なんですね。

手塚 > ええ。親も「セミの羽化を見たの初めてです！」なんて喜んでくれますよ。そうやってくずはの家で体験したことが、家の前の公園だとか、身近なところで活かされるといいなと思ってます。たとえばうちの近くの公園で、自然を見るって感じの場所ではないんですけど、夏祭りの時にセミの幼虫がどこどこ出てきて羽化し始めたんですよ。そんな家の近くの公園でも昆虫の営みを観察出来るっていうことをまず親に知ってもらいたいですね。



はく製が並ぶくずはの家で対談

ことをいっぱい教えてもらって欲しいですね。

手塚 > 実は私も子どもの頃虫嫌いだったんですよ（笑）

堀田 > えっ？そうだったんですか？！

手塚 > ええ。東京生まれなもので豊かな自然環境がなかったってこともあるんですけどね。でも哺乳類とかが好きだったので大学は生物関係へ進んだんです。そこで虫は怖いものだと一緒にしないで、いろいろな種類がいることを知ってすごく興味が湧いてきたんです。それでまず虫に触れるようになってきて、それから好きになっていった感じですね。だから十分大人デビューできることなんですよ。

子どもの興味の扉を閉ざさないように

堀田 > 少しずつ勉強や実体験を重ねるうちに好きになっていったんですね。

手塚 > そんな感じですね。でも虫がトラウマとっていいほど嫌なお母さんなんかは、無理に虫に触れる必要はないですよ。私は今でもゴキブリはダメですし（笑）ただ子どもにはいろんな可能性がありますから、「虫は汚い」とかそういう言葉で生き物の世界への扉・子どもの興味の扉を閉ざさないようにして欲しいなあと思います。

堀田 > 大人になってからでも変わるけど、どうしてもダメならお母さん自身は虫嫌いでも構わないと（笑）

堀田 > セミなんかはいるんなところにいますからね。そうやってセミの羽化のことを知って知識の引き出しを増やしておく、何でもない公園でももっと楽しめるようになりますよね。

手塚 > そうですね。自分の生活圏をより豊かに感じ取れるようになってくれたらと思います。



いつも笑顔の手塚さん

私も虫嫌いだった

堀田 > 手塚さんは生物の専門家としてさまざまな生物の研究をされてきたことと思いますが、そういう経験が子育てに活きるようなことってありましたか？

手塚 > うーん、「こういうところには何がいる」とかある程度分かるので、どこへ行っても子どもにちょっとした種を蒔いておけるということですかね。あとは危険な生き物とかね、そういうこともある程度分かるので、そういう情報も与えてあげられる。そうすると子どももより安心して自然の中で遊ぶことができますし。

堀田 > ホントは楽しいことがあるのに知らないとただ通り過ぎてしまうだけになってしまいますからね。虫が苦手なお母さん方もここへ来て手塚さんに楽しい

手塚 > ええ。ただ、お母さんが子どもに「虫は汚い、怖い」って伝えてしまうと、子どもはお母さんが大好きですから、子どもの頭の中で「虫は警戒すべきもの」とインプットされてしまうんですよ。そこは気を付けて欲しいところではありますね。

堀田 > 言い方次第で虫嫌いを作っちゃうわけですね。

手塚 > そうですそうです。でもこんなことを言ってる私自身ね、普通の母親ですから、娘がわがままとか言ったときに、「そんなことすると虫が来ちゃうよ！」って怒ったことがあるんですよ（笑）それで娘は虫が嫌いになっちゃった時期があったんです。平岡幼稚園の原っぱで駆け回って遊んでた子なんですけどね。そうやって子どもの自然に対する興味が閉ざされてしまう。だから「そういう言い方は良くないよって今日の対談で言った方がいいよ」って娘に言われてきました（笑）



幼稚園でも親子で体験できるイベントを企画しています。
（毎夏恒例の平塚市総合公園セミの抜け殻調べり）

大人になってもからでも価値観は変わる

堀田 > そうだったんですね（笑）虫って触れながらちゃんと学んでいけば、驚くほど怖いものでもないと思うんですよ。だからやっぱり少しでもふれあってもらえればね、虫嫌いも変わっていくと思うんですけどね。

手塚 > 大人になってからでも価値観が変わるチャンスはありますから、私のように。さっき話した娘にしても、虫嫌いな時期があったにもかかわらず生物関係の学部に進んで虫を研究材料にしてみましたよ。

堀田 > 「虫嫌い」ってだいたいそう思い込んでるだけのことが多いと思うんですよね。



目を輝かせながら生き物とふれあってあそぶ子どもたち

手塚 > そうですね。あとね、今虫嫌いっていうのと違って、凶鑑は好きなんですけど実物には触れたことがないって子がすごくたくさんいるんですよ。名前はい

ろいろ知っているんだけど、それが実物と重なってないっていうか。大人になるにつれて知識だけの勉強がどんどん増えていきますけど、幼稚園の頃とかは実物があって名前があるんだってことを知る大事な場だと思うんです。今の小学生って時間がなくて忙しいですよ？そういう意味でも幼稚園時代は自然と触れ合える時間をたくさん取れるいい時期なんです。私なんて今でもたまに「あー、平岡幼稚園時代に戻って、もっと楽しみたい！」って思いますからね。

親よりも自然の方がいい先生

堀田 > やっぱり知識だけじゃ楽しくないですよ？自分の思いもよらないことを自分の目で見て「あっ面白い！」とか「凄い！」とか発見があるのが楽しいんだと思うんですけど。

手塚 > ホントそうですね。自然の中には新たな発見、ワクワク、ドキドキがたくさん詰まっていますから。親よりも自然の方がいい先生なんです。

堀田 > いい言葉ですね。そんなワクワクのきっかけになるような遊びがあったら読者に紹介したいんですけど、普段くずはの家でやってるような遊びで何か手頃なものありますか？

手塚 > 私たちがやってるイベントでは、実際に野外で見つけたものを使っていろいろ作ったりしてるんですよ。そうですね…ちょっと外に出てみますか？

堀田 > いいですね！行ってみましょう。それなら河原で生き物探しもしてみたいですね。

<一同野外へ>

手塚 > まず先に葛葉川に降りてみましょうか？



2年前に平岡幼稚園が実施した、くずはの家イベント（親子参加）での生き物探しの様子

手塚 > ここでは何遊びっていうより、何よりも生き物探しですね。それだけで十分楽しめます。

堀田 > そうですね。5分くらい探してみても捕れた生き物はこのケースに入れて行きましょう。

<それぞれ生き物探し>

堀田 > 5分のつもりが気付いたら10分経っちゃってましたね（笑）

手塚 > ホントあっというまですね。

堀田 > そうですね、ついつい夢中になっちゃいました。少しの時間でも色々見つかりましたね！



生き物探しの成果の一部

ヘビトンボ幼虫

ハグロトンボ幼虫

サワガニの親子

手塚 > こっちにはクルミがたくさん落ちてますよ。

堀田 > みんなで拾って食べたりするんですか？

手塚 > まわりの実（果肉）で稀にかぶれちゃう人もいるようなのであまりしてないんですけど、私たちはよく食べます（笑）イベントの際に薪のストーブで炒ってみんなで食べたことはありますね。フライパンで炒るとちょっと口が開くんで、そこにドライバーとか入れてクイッとやるとパカッと開くんですよ。ただもうダメになってもいいようなフライパンを使ってください。結構炒らないといけなくて。



オニグルミ

実をむくと↓

フライパンで炒るときれいに割れるよ

堀田> 河原なんかに行くとありますよね?たくさん。

手塚> ありますよ。金目川沿いにもたくさん生えてますね。こんなに美味しい食材が身近にあるのにみんな知らないですね。

堀田> オニグルミは幼稚園にも生えてるんで、みんなで食べてみたこともあるんですよ。確かにフライパンで炒るのが一番きれいに割れますね。最初トンカチで砕いてみたんですけど、粉々になっちゃって大変でした(笑) 食べられるものは、探す楽しみ、食べる楽しみ、2倍楽しめますね。

手塚> 次は草花で遊んでみましょうか?



自然のものを使った遊びをいろいろ教えてくれました

手塚> これはヌスビトハギって言って、メガネみたいな実がなるんですよ。こうやって服にくっつけてみたり。名前の由来は知ってますか?

堀田> えーっと、たしか泥棒の足跡に見えるからだったかな?

手塚> ピンポン! 正解。昔の盗人が足袋で抜き足差し足で歩いた跡みたいだから、というのが由来みたいですね。

遊びと言えば、これなんかいいですよ。エノコログサレース。蛇腹に折った厚紙の溝に置いてトントン叩くと進んでいくんですよ。



ヌスビトハギ

服にくっつくよ!

エノコログサレース

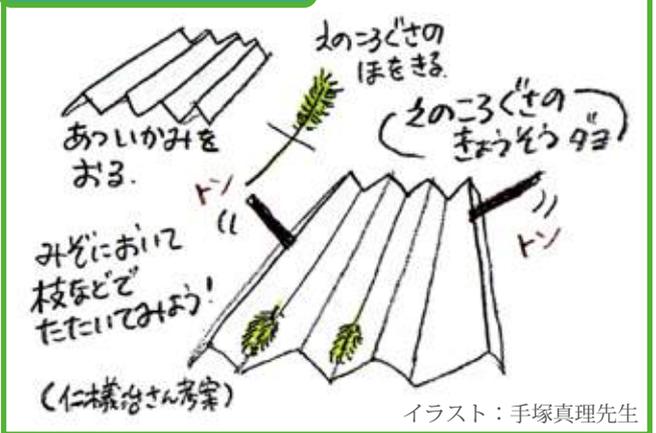
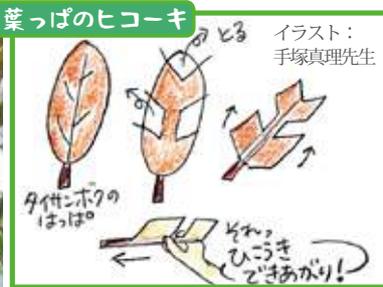


イラスト: 手塚真理先生

手塚> あとは、これですね。タイサンボクのココーキ。うまく飛ばないようにだったら、先っちょにクスの実とかおもりを付けるといいかも。羽の形とかいろいろ工夫してみてくださいね。



タイサンボク



葉っぱのココーキ

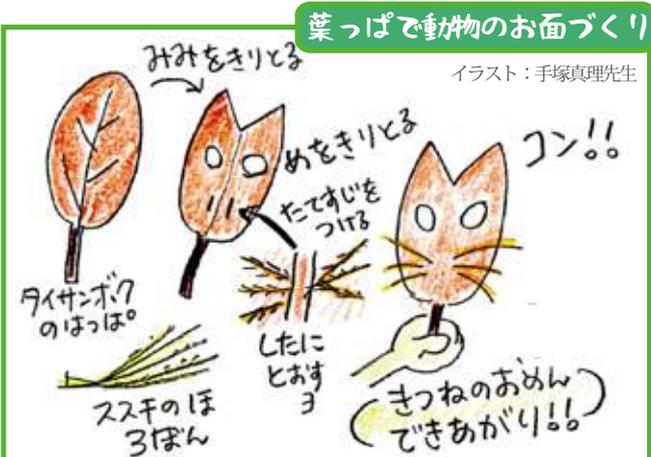
イラスト: 手塚真理先生

手塚> タイサンボクの葉とススキの穂で顔を作ったりするのも楽しいんじゃないですか? しっかりとした葉っぱだったら他の木の葉でもできますよ。試してみてくださいね。



手塚> 栗も面白いんですよ。こういう薄いのが一個くらい入ってるんですけど。これでスプーンを作ったりね。この頭のところに枝を刺すんです。こは芽が出るところで子どもでも手でちぎれるくらい柔らかいので。ほら! スプーンが出来た。可愛いでしょ? はい、プレゼントします。

堀田> ありがとうございます(笑)



葉っぱで動物のお面づくり

イラスト: 手塚真理先生



栗の実のところがっている方をちぎって小枝を刺すだけでスプーンの出来上がり!

堀田> これは楽しめますね! タイサンボクもススキもエノコログサも幼稚園にあるのでぜひやってみます。

手塚> これはご存知ですか? 水を入れたペットボトルにムクロジの実(果肉)を入れて振ってみると...やってみますか?

堀田 > すごい！泡が立ちますね。これで油分が落ちるんですか？

手塚 > ええ、自然派の人にはこれで作った石鹸が高く売れるみたいですよ。



ムクロジの実

手塚 > 木の葉っぱで笛作ってみましょうか？ツバキとかアラカシとか固い葉っぱが鳴りやすいですね。

葉っぱでつくる笛

イラスト：手塚真理先生



〈一同屋内へ〉
堀田 > しかしここは広いですね。住宅地のすぐ横に別世界が広がってる感じで。いろいろ教えてくれてありがとうございました。幼稚園でもやってみます。

手塚 > ぜひやってみてください。



翌週のくずはの家イベントで、早速園児たちと一緒に遊んでみたところ大盛り上がりでした！

葉っぱの笛
ムクロジの果肉を使ったゲーム

自然を楽しむカギを手に一步野山へ

堀田 > それではそろそろこの対談も締めに入らせてもらおうかと思うのですが、今日お伺いしたような子育てを経てきた手塚さんは、子どもにとっての自然体験の重要性をどう考えてらっしゃいますか？

手塚 > そうですね、お母さんたちは子どもの可能性、この子はどういうことに向いていて、将来どうなっていくといいんだろう？っていつも考えてると思うんですよ。それでいろんな習い事させたりするんだけど、

自然体験っていうのは特に生き物の専門家に育てるためとかじゃなくて、園児くらいの成長段階で、「これは何だろう？」って思ったり、危険を察知する能力を鍛えたり、そういう人間の基礎的なことを育ててくれる場所だと思うんです。

堀田 > 何にさせたいからとかじゃなくて、いろいろなことを体験させてあげるのが一番ですね。では最後に、今子育て真っ最中のお父さんお母さんたちに何かメッセージをいただければと。

手塚 > 子どもたちが自然の中で初めて何かを体験してワクワク、ドキドキする。そうやっていろいろな経験をして成長していく。そんな子どもたちの様子に立ち会えることは本当に幸せなことだと思います。親が子どもと一緒にワクワク、ドキドキを楽しめる期間なんて人生の中で本当に短いんですよ。なのでぜひ平岡幼

稚園の自然体験イベントや、くずはの家のような施設が開く観察会に参加して、自然を楽しむカギをたくさん手に入れてみてください。そして、そのカギを持って一步野山に踏み出してみましょう。そうすれば、怖い、嫌いといって自ら閉ざしていた扉が開かれて、野山が面白くて感動的なものになってしまうと思います。

堀田 > 今日は楽しい対談になりました。他の職員の皆さんもご協力ありがとうございました。



つり橋から望む葛葉川

家族で野山に出かけてみよう！ 終



ここで手塚さんに会えるよ！

かながわのナショナルトラスト緑地第1号「葛葉緑地」

秦野市 くずはの家

くずはの家は、葛葉緑地を保全し、市民の方々が自然に学び触れ合うための秦野市の施設です。平岡幼稚園と同じく、「関東水と緑のネットワーク拠点 100 選」に選定されています。

開館時間：9:00～17:00
休館日：月曜・祝日の翌日
12/29～1/3
利用料：無料
住所：〒257-0031
秦野市曾屋 1137
Tel/Fax：0463-84-7874



秦野市中心部からすぐ。くずはの家入口↑

くずはの家「でんじそう池」の前で

みんなが集めた 生き物はっけん記録 2017年 6月～8月

速報



腹端の拡大写真
突起が5本あるのが特徴

7月 茅ヶ崎市にて
イラガセイボウ



生き物の写真募集!

本欄に掲載する写真を募集しています。昆虫類だけでなく、カエルやトカゲ、野の花など何でもOKです。
写真データに「いつ」「どこで」「だれが」を添えて下記メールアドレスにお送りください。
(隊員でない方からの投稿も大歓迎です。)

はっけん隊連絡メール
ikimono@hiraoka-kg.com

註1) 本欄の記録は正式な発表ではありません。後日発行予定の『別冊・湘南自然誌』に本年度の記録をまとめて掲載し、そちらを正式な発表とします。
なお、重要性の高い記録については各専門誌に投稿します。

註2) ここに掲載されている記録は、難しいものはっけん隊名誉顧問の岸一弘先生に同定して頂いております。

危 危険な生き物

【昆虫類】

◇チョウ目

- モンキチョウ：(♂) 平塚市北金目 6月 山田衛 (写①)
- クロアゲハ or モンキアゲハ：(3齢幼虫) 平塚市入野 7月 橋本蓮生愛 (写②)
- ジャコウアゲハ：(蛹) 平塚市上吉沢 6月 西部浩美・颯太 (写③)
：(♀) 平岡幼稚園 8月 富岡誠一・堀田佳之介 (写④)
- ウスバシロチョウ：南足柄市矢倉沢 6月 堀田来佳・ゆら (写⑤)
- ツバメシジミ：茅ヶ崎市芹沢 7月 橋本蓮生愛 (写⑥)
- ツマグロヒョウモン：(♂) 平塚市岡崎 8月 佐野愛子 (写⑦)
：(♀) 平塚市大原 8月 比佐野拳太 (写⑧)
- ゴマダラチョウ：(死体) 平塚市大原 7月 小室和真 (写⑨)
- アカボシゴマダラ：(♀) 平塚市大原 8月 総合公園合同調査 (写⑩)
- ジャノメチョウ：(♂) 秦野市堀山下 7月 山田衛 (写⑪)
- イチモンジチョウ：平塚市土屋 8月 子ども環境教室 (写⑫)
- ダイミョウセセリ：平岡幼稚園 8月 堀田佳之介 (写⑬)
- ムラサキシジミ：平岡幼稚園 8月 富岡誠一 (写⑭)
- イチモンジセセリ：平岡幼稚園 8月 堀田佳之介 (写⑮)
- ナミカタシロナミシャク：平塚市土屋 6月 小山瑞穂 (写⑯)
- シロスジアオトウ：平塚市北金目 7月 富岡誠一 (写⑰)
- オスクロトモエ?：(幼虫) 平塚市達上ヶ丘 8月 相澤るか (写⑱)
- ハマオモトヨトウ：(幼虫) 8月 平塚市入野 8月 橋本蓮生愛 (写⑲)
- チャドクガ：(幼虫) 平塚市大原 8月 総合公園合同調査 (写⑳)
- セスジスズメ：(幼虫) 平塚市唐ヶ原 8月 吉田ゆかり・夕夏
：平塚市日向岡 8月 山本陽向 (写㉑)
- キイロスズメ：(幼虫) 平塚市御殿 8月 相澤 永人・大竹和子 (写㉒)
- カノコガ：南足柄市広町 8月 新井柚稀・梨沙 (写㉓)



◇ トンボ目

- アオモシイトトンボ**：(♂) 平塚市土屋 7月 小山瑞穂
アジアイトトンボ？：(♀) 平塚市土屋 7月 小山瑞穂
キイトトンボ：(♂) 茅ヶ崎市芹沢 7月 梶原昇真 (写24)
ホソミイトトンボ：(♀) 秦野市堀山下 6月 堀田来佳 (写25)
オオアイトトンボ：(♀) 平塚市上古沢 6月 西部浩美・颯太
ハグロトンボ：(♂) 平塚市岡崎 7月 佐野愛子・紗弥子・龍生・陽向子・悠生
 ：(♂) 平塚市土屋 8月 小山瑞穂 (写26)
オナガサナエ：(幼虫) 平塚市土屋 7月 小山瑞穂 (写27)
クロサナエ：(交尾) 南足柄市矢倉沢 6月 堀田来佳 (写28)
コシボリヤンマ：(幼虫) 平塚市土屋 7月 小山瑞穂 (写29)
マルタンヤンマ：(♀) 平塚市土屋 8月 大津誠 (写30)
コヤマトンボ：(幼虫) 平塚市土屋 7月 小山瑞穂 (写31)
シオカラトンボ：(♂) 平塚市岡崎 8月 佐野愛子
 ：(♂) 南足柄市広町 8月 新井柚稀・梨沙
 ：(♂) 平塚市中原 8月 新井柚稀・梨沙
オオシオカラトンボ：(♂) 平塚市土屋 7月 小山瑞穂
ショウジョウトンボ：(♂) 茅ヶ崎市芹沢 7月 茅ヶ崎里山公園観察会参加者
ナツアカネ：(♀未熟) 平塚市北金目 7月 山田衛
マユタテアカネ：(♂) 平塚市土屋 8月 金沢美織 (写→P16)
カトリヤンマ：(♀) 平岡幼稚園 8月 堀田来佳 (写32)



24 キイトトンボ♂



25 ホソミイトトンボ♀



26 ハグロトンボ♂



27 オナガサナエ幼虫



28 クロサナエ交尾



29 コシボリヤンマ幼虫



31 コヤマトンボ幼虫



32 カトリヤンマ♀

- ショウジョウトンボ : 38exs.
 オオシオカラトンボ : 585exs.
 アキアカネ : 1
 マルタンヤンマ : 1♂・1♀
 オニヤンマ : 8♂・7♀ 性別不明 1
 オオアイトイトトンボ : 22♂・28♀ 性別不明 1

平岡幼稚園で
 見つかった
 トンボのゆげがら
 6月～8月の速報



30 マルタンヤンマ♀

◇ コウチュウ目

- ダングラテントウ**：平塚市八重咲町 8月 吉田結陽・ゆかり・夕夏
ムーアシロホシテントウ：平塚市大原 8月 福島悠吾 (写33)
アミダテントウ：南足柄市広町 8月 新井柚稀・梨沙 (写34)
ウンモンテントウ：裾野市須山 6月 堀田佳之介 (写35)
ラミーカミキリ：平塚市土屋 6月 小山瑞穂 (写36)
ルリボシカミキリ：平塚市土屋 7月 小山瑞穂 (写37)
キボシカミキリ：開成町吉田島 6月 小澤瑞穂 (写38)
ホシベニカミキリ：平岡幼稚園 6月 堀田佳代 (写39)
ベニカミキリ：平塚市土屋 6月 年少組 (写40)
ゴマダラカミキリ：平塚市入野 7月 橋本蓮生愛
 ：平塚市大原 7月 小室和真 (写41)
 ：平塚市出縄 8月 大津ねね
ウスバカミキリ：(♀) 平塚市土屋 7月 小山瑞穂
ゲンジボタル：平塚市土屋 6月 小山瑞穂 (写42)
ハイケボタル：平塚市土屋 7月 ハイケボタル観察会参加者 (写→P13)
ナガチャコガネ：平塚市大原 8月 相澤るか
クロカナブン：茅ヶ崎市芹沢 7月 茅ヶ崎里山公園観察会参加者
カブトムシ：(♂) 藤沢市遠藤 7月 佐野拓生・愛子・紗弥子・龍生・陽向子・悠生
 ：(♂) 茅ヶ崎市芹沢 7月 平川幸江 (写43)
ノコギリクワガタ：(♂・♀) 茅ヶ崎市芹沢 7月 宮田昌之 (写44)
クワガタ：(♂) 平塚市土屋 7月 ハイケボタル観察会参加者
ヤマトタマムシ：(死体) 秦野市鶴巻 7月 鳥海花歩
 ：平塚市土屋 8月 こども環境教室
アオカミキリモドキ？：平塚市下吉沢 6月 西部浩美・光咲 (写45)
アオヘリアオゴミムシ？：南足柄市広町 8月 新井柚稀・梨沙



33 ムーアシロホシテントウ



34 アミダテントウ



35 ウンモンテントウ



36 ラミーカミキリ 外来種



37 ルリボシカミキリ



38 キボシカミキリ 外来種



39 ホシベニカミキリ



40 ベニカミキリ



41 ゴマダラカミキリ



42 ゲンジボタル



43 カブトムシ



44 ノコギリクワガタ



45 アオカミキリモドキ？

危
 さ
 わ
 ら
 ない
 !

◇カメムシ目

- クサギカメムシ**：(幼虫) 平塚市岡崎 6月 山本辰巳 (写⁴⁵)
トホシカメムシ：平塚市大原 8月 総合公園合同調査 (写⁴⁶)
キマダラカメムシ：(成虫・幼虫) 平塚市西真土 7月 堀田佳之介 (写⁴⁷)
 →南方系の外来種。今年市内3地点でまとまった数を確認しました。(佳之介)
ヨコツナサシガメ：平塚市桜ヶ丘 7月 吉田結陽・夕夏・ゆかり (写⁴⁸)
ヤニサシガメ：平塚市黒部丘 7月 堀田節子
アブラゼミ：(♂) 平塚市北金目 7月 山田衛 (写⁴⁹)
 : (♂♀死体) 平岡幼稚園 8月 脇ここな
ヒグラシ：山北町中川 7月 山本辰未 (写⁵⁰)
クマゼミ：(多数) 平塚市虹ヶ浜・龍城ヶ丘 7月 堀田來佳 (写⁵¹)
ミンミンゼミ：(♂・ミカド型) 平塚市岡崎 7月 堀田來佳 (写⁵²)
 : 平塚市大原 8月 福島悠吾 (写⁵³)
 : 平岡幼稚園 8月 鈴木煌大
ツクツクボウシ：(♂) 平塚市桜ヶ丘 8月 堀田佳之介 (写⁵⁴)
ニイニイゼミ：平塚市横内 7月 堀田來佳 (写⁵⁵)
ハルゼミ：(羽化殻) 秦野市堀山下 6月 堀田佳之介 (写→P19)
ベッコウハゴロモ：茅ヶ崎市芹沢 7月 橋本蓮生愛 (写⁵⁶)



◇バッタ目

- オンブバッタ**：(♂) 平塚市岡崎 7月 佐野愛子・龍生 (写⁵⁷)
ショウリョウバッタ：(♀) 茅ヶ崎市芹沢 7月 橋本蓮生愛
 : (♀) 茅ヶ崎市芹沢 7月 野村朔
 : (♀) 茅ヶ崎市芹沢 8月 相原芽依子 (写⁵⁸)
ツチイナゴ：茅ヶ崎市芹沢 7月 茅ヶ崎里山公園観察会参加者
 : (♀) 平塚市日向岡 8月 山本智美 (写⁵⁹)
クルマバッタモドキ：平塚市岡崎 8月 佐野愛子
メスアカフィキバッタ：(♂) 平塚市土屋 8月 小山瑞穂 (写⁶⁰)
ヤブキリ：(♀) 平塚市土屋 7月 堀田來佳 (写⁶¹)
クツワムシ：(♂) 茅ヶ崎市芹沢 8月 茅ヶ崎里山公園自然観察会 (写⁶²)
ヒメクダマキモドキ：(幼虫) 平塚市御殿 8月 新井柚稀・梨沙 (写⁶³)
 : (♀) 平塚市大原 8月 総合公園合同調査 (写⁶⁴)
アオマツムシ：(幼虫) 平塚市日向岡 8月 山本智美 (写⁶⁵)
 : (♂) 平塚市大原 8月 総合公園合同調査 (写⁶⁶)
エンマコオロギ：(幼虫) 平塚市めぐみが丘 8月 平川圭 (写⁶⁷)
ミツカドコオロギ：(♂) 茅ヶ崎市芹沢 8月 原田來楽 (写⁶⁸)
マダラカマドウマ：(幼虫 or 成虫) 平塚市めぐみが丘 6月 平川圭 (写⁶⁹)



◇ナナフシ目

- ニホントビナナフシ**：(♀) 平塚市土屋 6月 小山瑞穂 (写⁷⁰) (写⁷¹)
ナナフシモドキ：(♀) 茅ヶ崎市芹沢 7月 茅ヶ崎里山公園観察会参加者



◇カマキリ目
ハラビロカマキリ：平塚市大原 8月 相澤永人
 ：(♀) 平岡幼稚園 8月 堀田來佳 (写⑦②)



⑦② ハラビロカマキリ♀

◇ハチ目
クロハラヒメバチ：平塚市土屋 7月 富岡誠一 (写⑦③) (写⑦④)
キムネクマバチ：平塚市岡崎 7月 佐野愛子・紗弥子・龍生・陽向子・悠生
キボシアシナガバチ：(巢) 大井町金子 7月 小澤瑞穂 (写⑦⑤)
イラガセイボウ：茅ヶ崎市芹沢 7月 堀田佳之介 (写→P7)



⑦④ キムネクマバチ

⑦⑤ キボシアシナガバチの巢
ちかづかない! (危)

◇ハエ目
ウシアブ：平塚市万田 8月 堀田來佳 (写⑦⑥)
サキグロムシヒキ?：南足柄市広町 8月 新井柚稀・梨沙 (写⑦⑦)
コムライシアブ：伊勢原市大山 6月 堀田佳之介 (写⑦⑧)
ムシヒキアブの一種：(蛹殻) 平岡幼稚園 7月 武重ここみ (写⑦⑨)



⑦⑥ ウシアブ

⑦⑦ サキグロムシヒキ?

◇ゴキブリ目
クロゴキブリ：平塚市めぐみが丘 8月 平川圭

【クモ網】
 ◇クモ目
ナガコガネグモ：(♀・幼体) 平塚市岡崎 8月 佐野龍生・陽向子 (写⑧①)
アリグモの一種：平塚市日向岡 7月 山本陽向
ジョロウグモ：(幼体) 南足柄市広町 8月 新井柚稀・梨沙 (写⑧②)



⑦⑧ コムライシアブ

⑦⑨ ムシヒキアブの一種(蛹殻)

◇ザトウムシ目
ザトウムシの一種：南足柄市広町 8月 新井柚稀・梨沙

【貝類】
スクミリンゴガイ：平塚市真田 7月 山田衛 (写⑧③)
 ：(卵) 平塚市西真土 8月 堀田佳之介 (写⑧④)
コハクオナジマイマイ：平塚市土屋 8月 堀田佳之介 (写⑧⑤)
オナジマイマイ：平塚市大島 8月 堀田佳之介 (写⑧⑥)



⑧① ナガコガネグモ♀

⑧② ジョロウグモ幼体

【甲殻類】
アメリカザリガニ：(幼体) 茅ヶ崎市芹沢 7月 橋本蓮生愛 (写⑧⑦)

【爬虫類】
ニホンヤモリ：平塚市岡崎 6月 山本辰巳 (写⑧⑧)
ヒガシニホントカゲ：南足柄市広町 8月 新井柚稀・梨沙 (写⑧⑨)
ヒバカリ：平岡幼稚園 6月 富岡誠一 (写⑧⑩)



⑧③ スクミリンゴガイ 外来種

⑧④ スクミリンゴガイ卵 外来種

【両生類】
ウシガエル：(幼体) 平塚市土屋 8月 山本達也 (写⑨①)
ニホンアマガエル：平塚市入野 6月 橋本蓮生愛 (写⑨②)
 ：平塚市岡崎 7月 佐野愛子
 ：南足柄市広町 8月 新井柚稀・梨沙 (写⑨③)



⑧⑤ コハクオナジマイマイ

⑧⑥ オナジマイマイ 外来種

【魚類】
アブラハヤ：秦野市堀山下 7月 山田衛 (写⑨④)
ナマズ：平塚市土屋 7月 小山瑞穂 (写⑨⑤)

【哺乳類】
アライグマ：平塚市上吉沢 8月 小山瑞穂 (写⑨⑥)



⑨① ウシガエル幼体 外来種



⑧⑦ アメリカザリガニ三幼体 外来種

⑧⑧ ニホンヤモリ

⑧⑨ ヒガシニホントカゲ

⑧⑩ ヒバカリ



⑨② ニホンアマガエル

⑨③ アブラハヤ

⑨④ ナマズ

⑨⑤ アライグマ 外来種

この線が
アマガエルの特徴
環境によって
体色が変わります

ちかづかない!
(危)

めずらしい生き物

- ヒメサナエ**：伊勢原市 6月 堀田佳之介 (写⁹⁶)
 →今年も羽化数が確認されました。専門誌「かまくらちょう」に続報を投稿中。(堀田)
- トビロカミキリ**：秦野市 6月 堀田佳之介 (写⁹⁷)
 →神奈川県昆虫誌によると「それほど多くはない」とされています。(堀田)
- タケトラカミキリ**：平塚市 7月 堀田佳之介 (写⁹⁸)
 →今はあまり見られなくなりました。(岸)
- ドウガネブイブイ**：平塚市 8月 堀田佳之介 (写⁹⁹)
 →以前はごく普通にありふれて見られた種ですが、近年減少しています。(岸)
- ヒラタクワガタ**：平塚市 7月 堀田佳之介 (写¹⁰⁰)
 →県 RDB で絶滅危惧Ⅱ類、市内で再発見されました。(堀田)
- ヒメナガメ**：平塚市 7月 堀田佳之介・富岡誠一 (写¹⁰¹)
 →専門誌「神奈川虫報」に掲載されました。下記の文献紹介参照。(堀田)
- クルマバッタ**：平塚市 8月 堀田佳之介 (写¹⁰²)
 →県内での分布は局所的で、平塚ではめずらしいです。(岸)
- ニッポンハナダカバチ**：平塚市 7月 堀田佳之介・來佳・心結 (写¹⁰³)
 →初確認してから3年目ですが、今年も多くの個体が確認されました。(堀田)
- ヤマトアシナガバチ**：茅ヶ崎市 7月 堀田佳之介・來佳・心結 (写¹⁰⁴)
 →県 RDB 絶滅危惧Ⅱ類、県内で減っているアシナガバチです。(堀田)
- ヒダリマキマイマイ**：茅ヶ崎市 7月 堀田佳之介・來佳・心結 (写¹⁰⁵)
 →名前の通り左巻きです。巻貝はほとんどの種が右巻きになります。(岸)



- ライトトラップ観察会で見つかった生き物一覧 -

7月15日 18:30 ~ 21:00
 大磯町国府本郷 星槎湘南大磯キャンパス

周辺部 【甲虫目】アオオサムシ・コカブトムシ・ノコギリクワガタ・キマワリ・ナガニジゴムシダマシ・ミツノゴムシダマシ・セマダラナガシクイ・ウスバカミキリ・センノカミキリ・ナガゴマフカミキリ・オオゾウムシ・シロヒゲナガゾウムシ・オオナガコメツキ 【チョウ目】ジャコウアゲハ・モンキアゲハ・ナガサキアゲハ・スジグロシロチョウ・ヒメウラナミジャノメ・ジャノメチョウ?・ヨツボシホソバ・カラスヨトウの一種・コシロシタバ 【トンボ目】ヤブヤンマ・ウスバキトンボ 【バッタ目】ヤブキリ・ヒガシキリギリス 【カメムシ目】ニイニイゼミ・ヒグラシ 【ゴキブリ目】クロゴキブリ

ライトトラップ 【甲虫目】セマダラコガネ・アオドウガネ・サクラコガネ・コクロコガネ・コフキコガネ・オオコフキコガネ・カブトムシ・コブマルエンマコガネ?・コクワガタ・ヨツボシケシキスイ・ミヤマカミキリ・キマダラカミキリ・ウスバカミキリ・トウキョウヒメハンミョウ・アシナガオニゾウムシ・オオツヤハダコメツキ?・オオナガコメツキ・ツマグロツツカコウムシ 【チョウ目】シロオビノメイガ・マメキシタバ・アミメキシタバ・コガタキシタバ・オオマエキトビエダシヤク・カギシロスジアオシヤク・ナシイラガ・アシベニカギバ・チャドクガ・ナンキシマアツバ・セダカシヤチホコ 【バッタ目】コロギス 【カメムシ目】チャバネアオカメムシ・ニイニイゼミ・オオホシカメムシ・セアカツノカメムシ 【ゴキブリ目】モリチャバネゴキブリ 【ハチ目】モンズズメバチ・キイロスズメバチ 【ハエ目】ホリカワクシヒゲガガンボ・ウシアブ・ミスジミバエ 【アミメカゲロウ目】ウスバカゲロウ・ホシウスバカゲロウ 【チャタテムシ目】クロミヤクチャタテ?

- 本誌 Vol.3 ヤマトアオドウガネの記録の訂正 -

湘南自然誌 Vol.3 の「めずらしい生き物」に掲載された“ヤマトアオドウガネ”は、上翅の形状から“アオドウガネ”であることが判明しましたので、ここに訂正いたします。(堀田)
 (誤) ヤマトアオドウガネ → (正) アオドウガネ



- 文献紹介 - はっけん隊が見つけた”めずらしい生き物”の記録を發表しました

平岡幼稚園(平岡いきものはっけん隊)の調査活動で得られた生物記録のうち特筆すべきものが、以下の通り専門誌に掲載されましたのでご報告いたします。両誌は幼稚園に収蔵されていますので、お読みになりたい方は佳之介先生まで。



「平塚市の丘陵地におけるニッポンハナダカバチの観察記録」
 かまくらちょう(92):24

「神奈川県におけるラクダムシの追加記録」
 神奈川虫報(192):35-36

「ホンドニセハイイロハナカミキリを秦野市三廻部で採集」
 神奈川虫報(192):34

「平塚市におけるヒメナガメの記録」
 神奈川虫報(192):41-42

「ネグロセンブリの幼虫を大磯丘陵(平塚市上吉沢)で確認」
 かまくらちょう(92):1

「伊勢原市におけるヒメサナエの記録」
 かまくらちょう(92):6

『あいだ先生のチョウ教室』

連載コラム

第5回 ～チョウの季節型のおはなし～

平岡いきものはっけん隊世話人
あいだ しげみち

會田 重道 先生



1942年東京生まれ。大磯町在住。幼少の頃よりチョウに興味を持ち、大学では農業昆虫学を専攻。退職後は大磯丘陵のチョウの調査と写真撮影を行う。日本鱗翅学会、日本チョウ類保全協会、相模の蝶を語る会各会員。著書に写真集「大磯の蝶」がある。

イチモンジセセリ

アカボシゴマダラ春型の写真以外はすべて會田先生撮影。

1. 季節型とは何か

チョウはそれぞれの季節（春、夏、秋）に翅の大きさ、翅の色、形、斑紋に変化が見られ場合があります。このことをまとめて季節型と言います。日本産のチョウでは、年に2回以上発生する約150種類のうちのほぼ半数が季節型を示すと言われています。

このような季節型をもつことは、さまざまな環境条件に対応するための優れた方法とも言われています。チョウは幼虫から蛹に生育している間に主に日長（日の長さ）と温度（暑さ寒さ）を感受していることが判明しており、それによって季節型を選んでいると思われる。

2. 季節型がはっきりしているチョウ類（湘南地域に生息しているチョウから抜粋）

- ① アゲハチョウの仲間：アゲハ、キアゲハ、クロアゲハ、オナガアゲハ、カラスアゲハ、ミヤマカラスアゲハ、モンキアゲハ、ナガサキアゲハ、ジャコウアゲハ、アオスジアゲハは春型・夏型がある。



- ② シロチョウの仲間：モンシロチョウ、スジグロシロチョウは春型・夏型、キタキチョウは夏型・秋型がある。



- ③ シジミチョウの仲間：ベニシジミは春型・夏型、ウラギンシジミは成虫越冬で夏型・秋型がある。



- ④ タテハチョウの仲間：キタテハ、ルリタテハ、クロコノマチョウは夏型・秋型、アカボシゴマダラ[※]は春型・夏型がある。



※ 次回のテーマは「チョウが好んで吸蜜する花」です

地域の自然を知ろう！遊ぼう！ はっけん隊 活動報告

2017.6月～8月

「トンボと遊ぼうひらつか」トンボ探しの様子 (7/2)

ヘイケボタル観察会

昨年、大好評だったヘイケボタル観察会。今年も多くの隊員が申し込んでくれたので、1回の予定を2回に増やすなど急遽変更しまして、なんとか希望者全隊員に参加していただくことができました。

1回目の6月30日(金)は、ヘイケボタルは少なかったもののゲンジボタルも一緒に見られ、両種の光る間隔や光量の違いを観察することができました。2回目の7月8日(土)は、月明かりが強かったためか見られたところは局所的でしたが、多くのヘイケボタルが舞う姿が確認できました。

平塚市にもまだ素晴らしい自然が残されていることの一部を多くの隊員に知っていただけたこと、大変嬉しく思います。これからもこの豊かな自然を大切にしていきたいですね！



ヘイケボタルは、ゲンジボタルよりも減少著しい県のレッドデータ種です。



「平塚にこういうところがあることを発見できて嬉しかったです。」(園児父)



「ホタル見られて楽しかった、超面白かった！」(園児)

観察会の参加者です。こんなに沢山の人が集まってくれました！

トンボと遊ぼう平塚

トンボと遊ぼう平塚は、「平岡幼稚園」や「NPO 法人暮らし・つながる森里川海」などの市民団体等で構成される「フォーラムトンボの棲む街づくり」の市民参加型イベントです。

2017年7月2日(日)土屋里山体験フィールドにおいて、日本生態学会の岸一弘先生を講師に迎えまして、豊かな自然の中で思う存分網を振りながら、色々な生き物を探しました。みんなで集めた生き物は、トンボ類はオニヤンマやカトリヤンマなど8種、コウチュウ類はカブトムシやノコギリクワガタなど7種、チョウ類はキアゲハやジャノメチョウなど12種、バッタ類はヒガシキリギリスやヒメギスなど8種、その他にもナナフシモドキやツノトンボなども見付き、とても楽しい1日となりました。



ハグロトンボ捕まえたよ～！！



ちっちゃくてかわいいハラビロトンボ♡



たくさんの親子に参加していただき、大盛況でした☆



「左がシオカラトンボで、右がオオシオカラトンボ」岸先生がわかりやすく解説してくれました。



ノコギリクワガタ見つけたけど死んでた～(涙)



「いろんな虫見つけられて楽しかった！」
「虫のことをよく調べられて良かった」(園児)



はじめて触ったナナフシモドキ♪

ライトトラップ観察会

2017年7月15日(土)大磯町国府本郷にある「星槎湘南大磯キャンパス」にて実施したライトトラップ観察会。白い幕を張ってライトで照らしたところ、カブトムシやキマダラカミキリなど18類、マメキシタバなどガ類13種、その他コロギスやウスバカゲロウなど沢山の昆虫類が集まってきました。

キャンパス内での実施を許可していただいた(学)国際学園の皆様ありがとうございました。



FM 湘南 MAGIC WAVEの取材を受けました



見つかった生き物の一覧はP11



カブトムシが飛んできたよ!

「こんなにいろんな虫が来るとは思わなかったの、子どもがすごく喜んでたので、来て良かったです。」(園児母)



ライトトラップ観察会の参加者

わからない虫は名誉顧問の岸一弘先生が教えてくれたね♡



ウスバカミキリが頭に!



ひらつか環境フェア

平成29年7月19日(水)～23日(日)に、平塚市役所1階多目的ホールで実施された環境フェアに「平岡いきものはっけん隊」が出展しました。フェア期間中は、はっけん隊の活動を紹介するパネルや資料の展示したほか、22日(土)には環境教室「身近なセミを知ろう」と題して「セミぬけがら図鑑作り」も行いました。

セミのぬけがら図鑑は、平塚市で夏に見られるセミ6種のぬけがらの見分け方のポイントを拡大写真で解説し、市内での発生状況なども記してあるオリジナル図鑑です。身近な自然にふれあうきっかけとして、皆様にご活用いただたら嬉しく思います。



「平塚にいるセミは何種類?」クイズラリーで問題を解く子どもたち(正解は7種類)



「図鑑欲しい!」と、わざわざ来て下さった方もとっても嬉しかったです☆



はっけん隊からもたくさんの隊員が参加してくれました!



研究発表の成果や湘南自然誌などを展示



折ったり、切り込みを入れたりして、1枚の紙を図鑑に変身させました!



はっけん隊オリジナル セミのぬけがら図鑑作成!

この図鑑を見たい方は、平岡幼稚園まで。また、県立生命の星・地球博物館ライブラリーや平塚市図書館などにも収蔵されていますので、ご利用下さい。

柳谷（茅ヶ崎里山公園）自然観察会

茅ヶ崎野外自然史博物館主催の「夏の花・夏の虫」（7月29日（土）実施）と「夜の鳴く虫観察会」（8月26日（土）実施）に、はっけん隊より希望者を募って参加してきました。茅ヶ崎里山公園には茅ヶ崎市最大の谷戸（やと）である柳谷（やなぎやと）があり、様々な生き物が見られる自然豊かな場所となっています。当日もカブトムシやクワガタ類、オニヤンマやマルタンヤンマ、ヤブヤンマなど沢山の生き物が見つかりました。茅ヶ崎野外自然史博物館の皆さま、ありがとうございました。



夕方にはヤブヤンマも！

瑠璃色の複眼がきれいです



きゃ〜こわい〜と言ってたけど、あれ？持てたね！！



ノコギリクワガタ見つけたよ！
かっこいいでしょ〜♪



7/29「夏の花・夏の虫」参加者



8/26「夜の鳴く虫観察会」参加者



日本一大きなトンボ「オニヤンマ」

金目川生き物観察会

2017年7月30日（日）平塚市と金目川水系流域ネットワークの主催で行われた金目川観察会に参加してきました。平岡幼稚園からは親子40名を超える隊員が参加し、近隣小学校の児童や東海大学の学生さんたちと一緒に金目川の生き物探しを楽しみました。

見つけた生き物は、魚類ではアユ・オイカワ・カワアナゴ・ヨシノボリ・ドジョウ・シマドジョウなど、甲殻類はテナガエビ・ヒラテテナガエビ・モクズガニ・カワリヌマエビ属の一種など、昆虫類はコシボソヤンマ・オナガサナエ・コオニヤンマ・オニヤンマ・ハグロトンボなどトンボ幼虫も6種類見付き、参加された皆さんからは金目川にこれだけ多くの生き物が住んでいることに驚いたという声が多かったです。当日は、朝方まで小雨が降るなどすっきりとしない天気でしたが、とても楽しい観察会でした。



親子で生き物探し！

石の下、草の中など色々な場所を探してみよう！



足でガサガサすると色々な生き物が網に入るよ♪



何かあったかな〜！？



魚がとれました〜！



アユもたくさんとれました☆

オナガサナエのヤゴ

こども環境教室～里山体験～

平成 29 年 8 月 6 日（土）土屋里山体験フィールドで行われた平塚市環境政策課主催の「子ども環境教室～里山体験～」に参加してきました。定員を大幅に上回る多数のご応募をいただきありがとうございます（抽選に漏れてしまった皆様申し訳ございませんでした…）。

土屋里山体験フィールドは、樹林部と湿地部で構成されており、生き物の種類・数が豊富な場所です。みんなで、昆虫探しをしたり、自然物を使った工作を楽しみました。



佳之介先生が昆虫探しのリーダーを務めました



工作教室では「木の実鉄砲」「竹の下駄」などを作りました



みんなに大人気のクワガタやカブトムシも見つかったよ！



マユタテアカネ捕まえたよ



キラキラ宝石のようなヤマトタマムシ

「平塚市と周辺地域のセミのぬけがら調べ 2017」

今年で 4 年目を迎えるセミのぬけがら調査は、平岡幼稚園の夏の恒例行事になりつつあります。今年も、はっけん隊隊員の他に、一般参加者（平塚市博物館セミのぬけがら調査隊など）も加わり、みんなで実施いたしました。

総合公園の調査に参加いただいた皆様、夏休み中に集めてくれたお友だち、ありがとうございます。今年集まったぬけがらは、まだ集計中ですが 9/29 現在で 16000 個を超えました。調査結果は、はっけん隊で報文を作成し、平塚市博物館研究報告に投稿いたします。



いっぱいどれてヤッター！だったよみんなぬけがら探しの名人です☆

セミのぬけがら講習会（平塚市博物館講堂にて）



2年生になってもやりたいです。楽しかったです（卒園児）
ぬけがら集めは親も夢中になるくらい楽しいです。娘もセミに触れるようになり、虫好きな平岡っ子になりつつあります！（園児母）

幼稚園のクラス活動でもぬけがら探しを実施

セミの鳴く声があると探し集めて楽しんでいました。子どもたち自らセミのぬけがら鑑でチェックして【探す→調べる→答え合わせをする】をして喜んでいる姿に感動しました！（園児母）



第 5 回（8/26）



第 2 回（8/9）

トンボもいっぱいいて嬉しかった（園児）
沢山の脱け殻をみつけられて嬉しかった（園児）



第 4 回（8/20）



第 1 回（7/20）
平塚市総合公園合同調査参加者

葉っぱの裏や木の枝に脱け殻がいっぱいくっついていました。取りずらかったけど沢山とれて嬉しかったです。（園児）



第 3 回（7/29）

特集2 自然観察のマナー

自然観察をしていると、残念ながらマナーの悪さが目立つ場面に遭遇することがあります。人との関わり、自然との関わり、様々な場面においてマナーを大切にしたいものです。今回は自然観察におけるマナーについて少し取り上げます。

はっけん隊のお約束

- ① 安全第一!
- ② 持って帰るなら最後まで飼う
逃がすなら元の場所に!

① 挨拶をしよう

生き物探しをする時、色々な場所に行かれると思いますが、民有地などは無断で立ち入ると不法侵入となります。「こんにちは」「ここで虫探ししてもいいですか?」など一声掛け、許可を得てから生き物探しをしましょう。



たくさんとれたけど...

② たくさん捕ったけど、どうする...?

生き物の採集は、実物に触れることで様々な情報を得たり、子どもたちが“命”について考えることができる貴重な機会です。いろいろ試行錯誤したり、失敗しながら学ぶことも大切ですが、採集圧が希少種や個体数の少ない生き物にダメージを与えてしまう場合もあります。マナーと節度を持って生き物探しを楽しみましょう。

③ 荒し行為

カブトムシやクワガタムシを採集するため、樹木を故意に傷つけたり、ゼリーや果物等のトラップが放置されていたり、根元の土を掘り返してそのままになっている場面をよく目にします。樹木はむやみに傷つけない、仕掛けたトラップは回収する、根元の土は元に戻すなど、マナーを守りましょう。

平岡幼稚園でも今年、クヌギの木が傷つけられてしまい、園児・教職員の皆が大変悲しんでいます。我が園では、園児がさまざまな生き物とふれあって遊べるように環境整備をすると共に、皆で地域の自然(生き物)を守っていく活動を行っております。今後このようなことが起きないように願っています。

※平岡幼稚園は決められた時間以外、許可なく敷地内に入れません。

県立茅ヶ崎里山公園の例



平岡幼稚園
ビオトープの例



傷つけられた樹木

放置されたトラップ

④ ゴミの問題

山林や河川・海浜など、様々な場所で捨てられたゴミが目立ちます。ゴミは必ず各自で持ち帰るようにしましょう。③でも触れましたがトラップも回収しなければゴミになります。

海岸で拾ったゴミ



釣り糸に絡まって命を落としてしまう鳥もいます

⑤ 外来種の問題

現在、人の手によって移動された外来種の問題は、地域の自然を脅かす一因となっています。例えばアカボシゴマダラ大陸亜種(名義タイプ亜種)は、チョウの愛好家によって中国から持ち込まれたものが放されてしまったようで、1998年に藤沢市で発見されて以降、爆発的に増えてしまいました。

はっけん隊のお約束にもありますように、「生き物を持ち帰る時は最後まで飼う、逃がすなら元の場所に」を私たち一人ひとりが実践し、その生き物の分布域を人の手で乱さないようにしていきましょう。

アカボシゴマダラ大陸亜種
(名義タイプ亜種)



アメリカザリガニ





2017年夏の平岡っ子たち

2017年の夏季に行われた園舎の外装工事の影響で、7月下旬～9月中旬まで園庭の半分が使えなくなっていました。また、業者の手違いにより、園庭の深井戸の電源がいつの間にか落ちてしまい、園庭池・原っぱ池が干上がってしまいました。文明の利器は大変便利ですが、同時に不安定さも露呈してしまった格好です。



園舎の外装工事の様子

工事期間中は、限定された中での遊びになってしまいましたが、平岡っ子たちはトンボやセミ、サワガニ、ヒバカリをはじめ、たくさんの生き物たちとふれあいながら目を輝かせていました。

私たちの生活（衣食住）は、常に“自然（生態系）の恵み”を受けることによって成り立っていることを忘れてはなりません。平岡っ子たちが園生活で得たさまざまな自然体験が、後に“自然”の仕組みや繋がりを理解していく第一歩になってほしいと考えています。

これからも“自然”に畏敬の念を抱き、その恩恵に感謝しながら、身近な自然（生き物）と共に過ごす時間を大切にしていきたいと思っています。（堀田）



湧水を水源とする平岡の森の3つの池や水路は健在でした！



ヒバカリの幼生を発見！ とっても大人しいヘビです^^すぐに仲良し♡



かわいいサワガニさんたちともたくさん遊んだね♪

はっけん隊からのお知らせ

●今号より湘南自然誌のサブタイトルが変わりました

「平岡いきものはっけん隊隊報」→「平岡いきものはっけん隊からお届けする地域の自然情報誌」

本誌は、創刊当初から“地域に自然情報を発信する”ということを目的の1つとして掲げていたのですが、これまでサブタイトルがはっけん隊の隊報とされていたように、隊の内部向け冊子としての色が濃いものでした。しかし、当初は創刊号のみの予定だった巻頭特集も毎号掲載するように変更したほか、みんなで集めている生物記録の量も増えるなど、発行を重ねるごとに内容の充実が図られていることや、本誌が郷土資料として研究機関や図書館などにも収蔵されていることから、地域に情報発信する媒体としての位置付けを明確にするために、今号よりサブタイトルを表題の通り改めます。これからも“湘南地域の自然”をテーマに、多様な視点から隊員はじめ地域の皆様に自然情報をお届けしていきたいと思ひます。今後とも、どうぞよろしくお願ひいたします。

●「生物多様性日本アワード」の結果について

2017年5月に応募しました（公財）イオン財団主催の「生物多様性日本アワード」の結果が届きました。今回は、生物多様性の普及・啓発部門に応募したのですが、誠に残念ながら受賞には至らなかったことご報告いたします。本アワードに推薦していただいた理科教育の専門家である露木和男先生には心より感謝申し上げます。次回のアワードは、再来年の予定です。はっけん隊の活動を更に大きなものとし、再度チャレンジしたいと思ひております。

●湘南自然誌のバックナンバー

園ホームページからバックナンバー（PDF）がダウンロードできます。ぜひご利用ください。

平岡幼稚園ホームページ
<http://hiraoka-kg.com/>

本誌は、神奈川県立生命の星・地球博物館（ライブラリー）、平塚市図書館、大磯町図書館、秦野市くずはの家などでも全号閲覧できます。

おえかきひろば

ひらおか幼稚園
絵画投稿コーナー

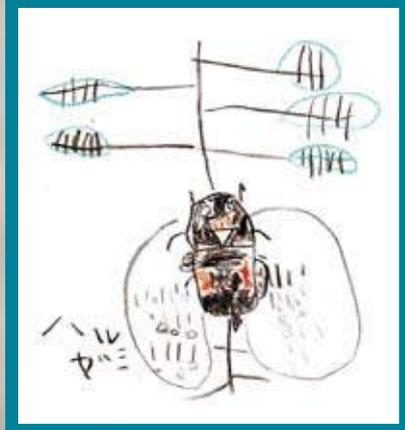
在園児・卒園児（小学生まで）による生き物・自然をテーマにした絵画の投稿コーナーです。

A4サイズまでの紙に縦向きで描き、裏に題名と氏名・年齢を書いて幼稚園まで持ってきてください。みんなの投稿待ってます！

（今回の表紙絵は教職員18名で投票を行って選考しました。）



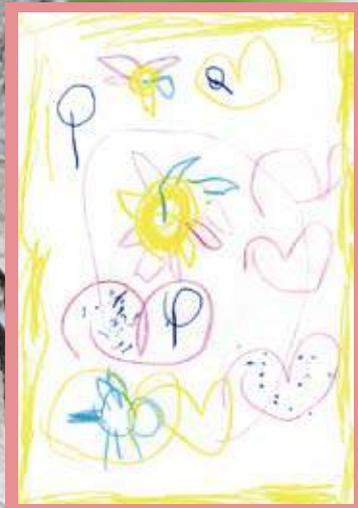
「おたまじゃくしととんぼ」
画：のむらさく（4さい）



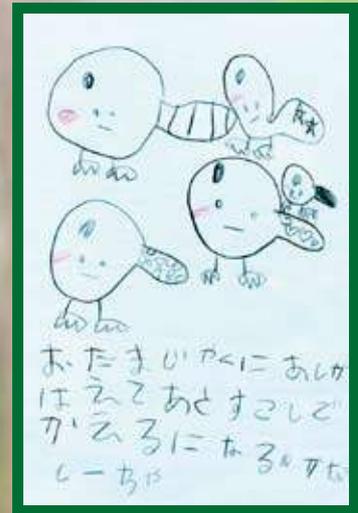
「ハルゼミ」 画：はらだ きらく（5さい）



「とんぼ」 画：ほった ころゆ（3さい）



「おはなといきもの」 画：のむらさく（4さい）



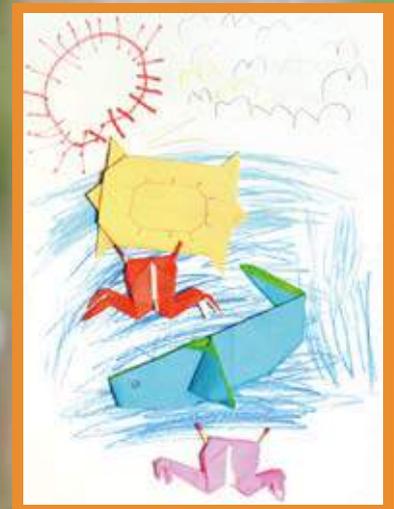
画：すぎの しほ（6さい）



「とんぼとやぎとおたまじゃくし」
画：すぎの しほ（6さい）



6月秦野市にて
ハルゼミのぬけがら



「うみのうえにかもめがとんでいます」
うみのうえにおひさまがぎらぎらしています。
画：のむらさく（4さい）

平岡幼稚園の紹介

平塚市北部の伊勢原台地南端の麓に位置する我が園は、湧き水の染み出る台地の斜面や表土が残るなど、元々の自然環境が残されています。2009年より園地をビオトープ*にして、周囲に住む多様な生き物を呼び込みながら、子どもたちと一緒に地域の自然環境を保全する活動を行っています。昭和42年開園、学園地総面積7,501㎡。*ビオトープ・野生生物の生息環境

- 【受賞歴】2012年 全国学校・園庭ビオトープコンクール2011「学校園庭ビオトープ奨励賞」受賞
2014年 全国学校・園庭ビオトープコンクール2013「日本生態系協会賞」受賞
平岡幼稚園ビオトープが「関東・水と緑のネットワーク拠点100選」に選定される
2015年 生物多様性日本アワード 最終選考
2016年 全国学校・園庭ビオトープコンクール2015「日本生態系協会賞」受賞

【主な研究・発表実績】

- ◆2015年
平塚市内のセミのぬけがら調査(2014年)。自然と文化、(38)：p.33-46。平塚市博物館。
- ◆2016年
平塚市とその周辺地域のセミのぬけがら調査(2015年)。自然と文化、(39)：p.41-59。平塚市博物館。
神奈川県西部(主として平塚市)のハルゼミ調査。自然と文化、(39)：p.29-40。平塚市博物館。
神奈川県平塚市でミンミンゼミ赤色型を採集。Cicada,22：p.40。日本セミの会。
平岡幼稚園(平塚市岡崎)でヒラタクワガタを目撃。神奈川虫報、(190)：p.26-27。神奈川昆虫談話会。
- ◆2017年
平塚市におけるトンボ目の生息状況(2015-2016)。神奈川自然誌資料、(38)：p.59-66。生命の星・地球博物館(共著)
平塚市と周辺地域のセミのぬけがら調査(2016年)。自然と文化、(40)：p.41-60。平塚市博物館。
神奈川県におけるハルゼミTerpnosia vacua(Olivier.1970)調査。自然と文化、(40)：p.61-80。平塚市博物館。
アブラゼミ脱皮殻にみられた畸形。Cicada,23：p.37-38。日本セミの会。

編集後記

今号からスタートした「写真投稿コーナー」。写真が集まるかどうか不安でしたが、フィルム写真やプリント写真での投稿など本格的な作品が集まりました。また、プロの写真家の小林鉄斎さんまで投稿してくれました。仕事では主にポートレートを撮られている鉄斎さんですが、撮影の訓練のために飛翔中の昆虫を狙って撮ったりしてるそうです。またいい生き物写真が撮れたら投稿してくれるそうなので楽しみください。

最後に、対談を引き受けてくださった手塚真理先生と、毎号全編にわたり内容のチェックをいただいている岸一弘先生、コラムを執筆して下さい下さっている會田先生に感謝申し上げます。（富岡）